

# コラム～安全だより～

脚立や梯子を使用する作業には墜落・転落の危険が潜んでいます。「ちょっとだから」「そんなに高くないから」という作業こそ要注意。道具は正しく使いましょう。

令和6年9月（通算第141号）

発行：  
公益財団法人東京しごと財団  
（東京都シルバー人材センター連合）

## 植木剪定作業での事故が発生しています 道具を安全に正しく使って墜落・転落を防ごう

剪定のためコンクリート上にブルーシートを敷き、三脚を登ったところ、三脚の脚が滑りバランスを崩し転落、負傷した。三脚を滑りやすい場所に立てたこと、滑り止めの確認不足、結束をしなかったことが要因。

三脚8段中の上から2段目に登り刈込作業中、三脚の足が開いてしまい落下して負傷。三脚の止め具はつけていたが、外れて倒れてしまった。

植木の剪定中、車庫屋根の上の木を切る際、左肘を置いた車庫屋根が抜け落ち落下、下にあった低木で負傷。三脚から身を乗り出す、屋根や壁などに重心をかけるなど無理な体勢をとらず、こまめに三脚を移動すべきだった。

傾斜のある場所で、三脚を使用して剪定中にバランスを崩し、約2.5mの高さから飛び降りた際に負傷。三脚の固定（結束）を怠ったこと、こまめに三脚を移動して作業に当たるべきところを、手を伸ばして無理な体勢で作業したことによるもの。

### 植木剪定作業は“三脚”または“梯子”+“結束”が基本

#### 脚立使用作業

- 脚立の天板・最上段には上らない
- 植木作業で使用する脚立は、三脚を基本とする

●安全帯のフックは目線より上に掛ける

- 脚立は丈夫な構造のものを使用
- 止め具※1がついていることを確認

- 作業時は必ず保護帽ならびに安全帯※2をつける
- 無理な姿勢で作業をしない
- 脚立はこまめに移動する
- 脚立から身体を乗り出さない

- 二等辺三角形になること
- 水平面との角度が75度以下になること

●地盤が柔らかい時は、敷板を敷くこと

※1 止め具 = 開き止め・閉じ止め金具  
※2 安全帯 = 墜落制止用器具

#### 梯子使用作業

- 梯子の幅は30cm以上の丈夫なものを使用する

- 結束した位置よりも上段での作業はしない
- 梯子の上部を縛る
- 丈夫な枝もしくは幹を中心に縛る

- 梯子の上部は60cmぐらい上方に出るようにする

- 昇降をする際は、道具類を持たない
- 地盤の状況を確認する（状況に応じて敷板を敷く）

- 地面との角度が75度以下になること

- 上部結束するために梯子に昇る時は、他の会員に下部を支えてもらい、安定させてから昇りましょう

●滑り止めのある梯子を使用する